# ミックウェア、米国オハイオ州ダブリンに新オフィスを移転し、北米事業を拡大

2026.11.02

*開発にAI/DXは本当の力を発揮、ビジネスパートナー、自走の設計思想が重い、ミックウェアの北米事業の前along 2026年11月30日に開所 式を開催しました。*

神戸発、2026年11月2日 – 日本を拠点とし、ホンダやトヨタなどにおける自動車メーカー向けに、車載インフォテインメント、アビゲーション、位置情報関連のソフトウェアを提供している株式会社ミックウェア(Nasdaq: MWC)(以下「当社」または「ミックウェア」)は本日、米国子会社である Micware North America Inc.(以下「Micware North America」)のオハイオ州ダブリンのオフィスを5525 Perkcenter Circle, Suite 100S, Dublin, Ohio 43017にあるより広い新オフィスへ移転し、2026年11月30日に開所 式を開催しました。拡張された新オフィスは、ミックウェアの北米における事業基盤の継続的な拡大と、イノベーションと連携の強化、ならびに現地顧のお客様およびパートナーに対する継続的な取り組みを反映したものである考えています。





**Micware North Americaの新たな幕と切り**

オハイオ州ダブリンのMarriott Columbus Northwestで開催された開所 式は、ミックウェアが2014年に米国拠点を設立してから10年以上を経たMicware North Americaによって、新たな節目となりました。当社創業者であり代表取締役社長 兼 会長 兼 CEOの堀尾 健二は、自動車メーカー(OEM)各社の代表者、ダブリン市関係者、ビジネスパートナー、地域の皆様とともに、この節目を祝いました。式典では、正式なリボンカット、オフィスツアー、レセプションおよびテクノロジー展示が行われ、来場者は拡張された米国オフィスを見学するとともに、当社の経営陣およびチームと交流する機会を得ました。



また、式典では、米国国防省令のプログラムである"Employer Support of the Guard and Reserve(ESGR)"により、Patriot Awardが授与されました。センクレ・オハイオESGR委員長のBob Skinner氏、Micware North Americaのチームメンバー3名、社長の堀尾 健、最高執行責任者(COO)の野々村 浩、シニアソフトウェアエンジニアの松本 暁彦に、それぞれ感謝に同意を授与しました。3名は、現在米国軍予備役に所属する同社従業員のKevin Zhangから、自身の軍務への支援に対する感謝を込めて推薦されました。

**ミックウェアのソフトウェア-デファインド・ビークル(Software-Defined Vehicle: SDV)および空間インテリジェンス技術を紹介**

当初案示はオペレーターやIoT向け事業にとどまり、ミックウェアが培ってきた自動車ソフトウェアの専門性と、モビリティおよび空間インテリジェンス分野への応用が提示しました。本場所は、当社のソフトウェア-デファインド・ビークル(Software-Defined Vehicle: SDV)およびOTAソリューションベースのサービスであるLocation-Based Service: LBS)に関する技術として、自動車向け情報・エンターテインメントシステム(In-Vehicle Infotainment: IVI)ソフトウェアプラットフォーム「mcAuto-FF」、ソフトウェア開発・テストを支援するAI活用ツール、道路インフラ分析ソリューション「Mecubes」、およびDynaPlanet-FFによる3D デジタルツイン技術を体験しました。

これらの展示を通じて、車載システム、道路インフラ、3Dデジタル環境にわたるミックウェアの技術力を紹介しました。また、OEM各社の代表者や欧州の取締役員と直接する機会となり、Micware North AmericaIF、日本国内における日本のOEM向けソフトウェア開発サービスの実績や拡大することを改めて示しました。

**創業者 代表取締役会長 兼 社長 CEOのコメント**

「この度、Micware North Americaの拡充にあたり、お客様やパートナーの皆様により近い場所で事業を行い、この市場で長期的な信頼関係を築くことができた。この度、そうした関係はミックウェアの全体において重要な一歩となります。また、米国のチームは重要に成長を続けており、新オフィスはは前のワークスペースの2倍の広さとなっています。お客様、パートナーの皆様、そして地域の皆様が開所式に集まってくださったことは、私たち全員にとって、この節目を より一層意義深いものにしてくれました。
この新オフィスは、単に広いワークスペースという だけでなく、私たちが 主体で働いていきたい次の姿を象徴するものです。今後も、お客様、パートナーの皆様、そして地域の皆様とともに、このアジアンでの拠点づくりを続けていきます。とりに成長してきたお客様への支援を継続するとともに、mcAuto-FF やDynaPlanet-FFをはじめとするミックウェアのプラットフォームおよび技術を市場により広く提供する機会を増やしていきます。長年にわたりMicware North Americaを支えてくださったすべての皆様に深く感謝するとともに、この新たな拠点で皆様とともに将来を楽しみにしております。」

**ミックウェアについて**

株式会社ミックウェア(Nasdaq: MWC)は、日本を拠点とし、ホンダやトヨタなどにおける自動車メーカー向けに、車載インフォテインメント、アビゲーション、位置情報関連のソフトウェアを提供しています。これらの技術力が、当社の空間インテリジェンス事業の基盤にもなっています。

神戸に本社を置くミックウェアは、2003年の創業以来、創業者兼CEOの堀尾健二が率いており、国内には拠点を展開するとともに、米国、タイおよびドイツに海外子会社を有しています。

プラットフォーム全体を占むた成長戦略のもと、ミックウェアは「mcAuto-FF」によりソフトウェアの領域を含む通信高度なコネクテッドサービスへと広げるとともに、「DynaPlanet-FF」により開発世界がパーチャルな3D空間をつなごとを目指しています。

詳細については、当社ウェブサイト(www.ir.micware.com/ja)およびLinkedinページ(www.linkedin.com/company/micware-company-limited)をご覧ください。

**将来の見通しに関する記述について**

本プレスリリースに含まれる一部の記述は、将来予想に関する記述です。これらの将来予想に関する記述は、現時および本知のリスクや環境性を含み、当社の財務状況、事績、事業戦略および営業全般に影響をもたらす可能性があるとは性が有する将来の事象について、当社の現在の期待および予測に基づいています。投資家の皆様は、本プレスリリースにおいて確要する「意図る」「希望する」「期待する」「予想する」「予測する」「計画する」「意図する」「予定する」「見積もる」「計画する」「予定する」「できる」「かもしれない」等の表現、または その他の類似表現を用いた箇所に、これらの将来予想に関する記述を多くすべてでは ありませんが、多くすべてであるとができます。当社は、法律で義務付けられている場合を除き、将来予想に関する記述を、その後に発生する事象や状況、または当社の予測の変更を反映するために、公に更新および修正する義務を負いません。これらの記述は、有価証券に関連する予定報告書、U.S. Securities and Exchange Commission (「SEC」)に提出されたフォーム20-Fによる年次報告書の「リスク要因」セクションに記載されている その他の要因を含む(ただ、これらに限定されません。)不確実性および リスクの影響を受けます。当社は、これらの将来予想に関する記述に含まれる期待は合理的であると考えていますが、その ような期待が正しいことを保証することはできません。当社は投資家に対し、実際の結果が予想と大きく異なる可能性があることに注意を促すとともに、将来の業績に影響をもたらす可能性のあるその他の要因について、フォーム20-Fによる年次報告書および その他のSECに提出書類に記載されており、www.sec.govにて閲覧可能です。

**お問い合わせ先:**


**株式会社ミックウェア**
IR担当
電話番号: +81-3-6699-9899
メールアドレス: mic_ir@micware.co.jp

広報担当
メールアドレス: mic_pr@micware.co.jp

**Ascent Investor Relations LLC**
ティーシオ
電話番号: +1-646-932-7342
メールアドレス: investors@ascent-ir.com